



佐賀大学
有明海
総合研究
プロジェクト

シンポジウム in 諫早（ご案内）

「有明海」は、「奇跡の海」と呼ばれるほど貴重で豊かな自然であり、その沿岸地域には独特の文化が形成されています。近年、人間の過剰な利用によって深刻なダメージを受けてはいますが、まだ有明海には豊かな自然と文化が残されています。この有明海と人間活動の持続的関係を、韓国の状況との比較を交えながら、社会科学的ならびに自然科学的な視点から探求し、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。多くの方のご参加をお待ちしております。

統一テーマ

「有明海と人間活動の持続的関係を目指して」

日時 2月21日（日） 13時～17時30分

場所 諫早市民センター 大ホール

報告者

藤永 豪（地理学） <有明海における漁撈活動と民俗知>

山下宗利（地理学） <有明海のノリ生産の特徴>

五十嵐勉（地理学） <農と漁—有明海における生業構造の変容とモノカルチャー化>

李 應喆（生態人類学） <有明海と干潟文化—日韓比較を通して>

武田 淳（生態人類学） <「あんこう網」と有明海から朝鮮海域への出漁>

樫澤秀木（環境法） <諫早湾干拓事業の決定過程>

速水祐一（沿岸海洋学） <有明海奥部の海洋環境の変化>

田中 克（水産資源生物学） <有明海再生と森里海連環>

*詳しくは、佐賀大学経済学部樫澤まで
お問い合わせください。

電話・ファクス 0952-28-8421

